

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報

		事業番号	0110/100560/02/12	事業の種類	4		
年度	19	事務事業名	交通安全推進事業	作成日	平成21年1月20日	重要度	5
予算事業名	交通安全対策推進事業		担当部課名	まちづくり推進室			
政策名	すこやかに暮らせる、心かようまちづくり						
施策名	防犯・交通安全対策		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	児童					
	誰(何)を対象として	通学時の児童					
	意図(どのような状態にしたいのか)	登下校時の児童の安全確保 交通事故のトラブルに悩む市民に相談する機会を紹介し、解決の手助けを行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		・通学時の児童を交通事故から守るため、通学路の危険な箇所では登下校時に立番指導を行う。				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	年間立番時間	時間	3,625	4,055	4,061	4,284

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
	主幹以下職員	0.180	0.150	83.3	0.150	100.0	0.150	100.0	
	臨時職員	0.000	0.000	-	0.000	-	0.000	-	
支出内訳	人件費	2,556,288	2,003,334	78.4	2,044,735	102.1	1,989,372	97.3	
	事業費	3,623,545	4,053,370	111.9	4,059,871	100.2	4,283,000	105.5	
	合計	6,179,833	6,056,704	98.0	6,104,606	100.8	6,272,372	102.7	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,179,833	6,056,704	98.0	6,104,606	100.8	6,272,372	102.7	
	合計	6,179,833	6,056,704	98.0	6,104,606	100.8	6,272,372	102.7	

4 評価指標

【有効性】

指標名1		年間立番時間							
指標説明(式)		年間立番時間							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
時間	目標	3,600	4,300	119.4	4,300	100.0	4,284	99.6	
	実績	3,625	4,055	111.9	4,061	100.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		立番1時間当りのコスト							
指標説明(式)		委託料÷年間立番時間							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
円	実績	1,000	1,000	100.0	1,000	100.0	1000	100.0	

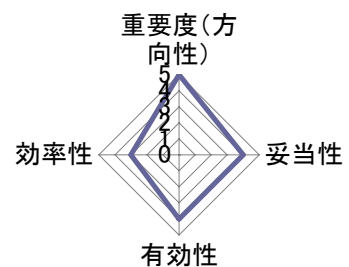
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	児童の通学中の防犯・交通安全対策には交通指導員の配置は有効と思われる。	5	4
	市民ニーズ	学校やPTAにとって子どもの通学時は不安であり指導員配置の要望は強い。		
有効性	成果目標(改善)達成度	相生上郡広域シルバー人材センターに委託実施し、通学路の安全を確保した。	4	4
	市民サービス	交通指導員の配置は交通事故防止の点だけでなく、防犯という意味でも有効的である。		
効率性	執行体制の効率性	立番の位置について学校現場)意見を求め適正な配置に努めた。	4	3
	手段の最適性	交通指導員と学校が綿密な連携をとり、通学時間に合わせた指導の実施		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	負担割合の適正化	現体制で防犯・交通安全対策としては対応できているが、現場(学校管理者)が立番を希望する箇所の中には必要性に疑問を感じる箇所があり、現場の同意を受け適正配備を図る



H19→H20予算反映額

(1) 評価結果を踏まえた19年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	18年度に引き続き、現場(学校)に立番箇所の適性の検討を求め、指導員の適切な配置を検討する。
H19→H20予算反映額		

(2) 20年度の実施方針

立番箇所の適性及び、指導員の適切な配置箇所を検討する。

検討の有無	-
総合指標	23